

だいせんの偉人先人たち

くさなぎ りぎ えもん 草薙理左エ門

【分類】 のうぎよう
農業

【生没年】 1624年 ~ 1689年

(げん な
元和10年) (げん ろく
元禄2年)
かんえい
寛永元年



「線刻千手観音等鏡像」 (裏面) 「線刻千手観音等鏡像」 (表面)

理左エ門の用水路下堰掘りの計画は、かくのだてまちしらいわ 角館町白岩から なか せんまち とよかわ 中仙町豊川を通り、おお たまち くに み 太田町の国見までの16 km。1667年に願
い出、藩の許しが出た1679年から5年かけて完成。さらに志は長男昌寛、孫の昌信に受け継がれ、開田の完成まで36
年の年月をかけて豊川地区130ha、国見地区260haの耕作面積が開かれたといわれている。なお、工事に取り掛かる2
年前、豊川地内ですすでにあった水路を修理中、人夫の一人が地下1.5mのところから一枚の「しんきよう神鏡」を掘りあてた。
これが昭和28年「せんごく せんじゆ かんのん どうきようぞう線刻千手観音等鏡像」として国宝に指定され、現在は水神社に祀られている秋田県唯一の国宝で
ある。

出典 『大仙市どど〜んとまるごとふるさと探訪ポケットブックポケットマップ』2018、2019、大仙市教育委員会／編
『先人の歩み中』1979、大曲市仙北郡校長会／編